

協議会等	沼島航路確保維持改善協議会
評価対象航路	沼島航路

二次評価結果

事業実施の適切性については、コロナ禍で利用者の減少が続く状況下においても、悪天候等を要因とした安全を守るための欠航を除き、計画に基づき定期運航が確保されている。また、島民割引についても計画に基づき継続して実施しており、島民の負担軽減が図られていることから評価できる。

目標と効果の達成状況については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、旅客輸送量は計画目標数を下回り、前年度実績に比べても減少する結果となったが、これは緊急事態宣言、まん延防止等重点措置による全国的な移動自粛要請に基づき移動が控えられたためであり、そのような中でも移動が必要であった利用者に万全の対策を講じて従前と同じ水準のサービスを提供しえたことは、特筆すべきことと評価される。

旅客輸送量・収支ともに計画目標・前年度実績に比べ減少しており、一次(自己)評価は「B評価」となっているが、特に費用面では新造船の導入に伴う税金や減価償却費の増加などが大きく、単純な比較は妥当と言えない。老朽船舶からの代替えによる燃費向上や利用者の安全性の確保など長期的な利点は大きく、表面的な損失を上回る便益性があったと思われることから、評価委員会としては「A評価」に値すると判断する。

通常の運航作業に加え、新型コロナウイルス感染防止対策として、乗船時の検温の実施、乗船切符回収箱の設置及び船員による清掃・消毒作業の徹底などを適切に実施し、利用者が安心して乗船できる環境の整備に努めたことは評価できる。

また、新型コロナウイルス収束後を見据え、観光客の回復・増加に向けた取り組みとして、地域と連携し「二次元コード」を活用した観光地の音声ガイドサービスの設置やグルメガイドブックの作成などに取り組んだことは、観光施設及び沼島総合観光案内所と連携した取り組みを検討・実施し、交流人口のさらなる増加に努めていることから、昨年度の一次(自己)評価の改善点を実行しており、評価できる。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続くと思われるが、協議会においては、引き続き感染拡大防止対策を徹底するとともにドック費用を最小限に抑えるなど経費削減に努めるとともに、コロナ収束後を見据え観光客の回復・増加に向けた取り組みを行う等利用者が安心して利用できる公共交通機関として、安定的な航路の確保維持に努められたい。

※兵庫県 緊急事態宣言発令期間

(R3.1.14～R3.2.28、R3.4.25～R3.6.20、R3.8.20～R3.9.30)

まん延防止等重点措置発令期間

(R3.4.5～R3.4.24、R3.6.21～R3.7.11、R3.8.2～R3.8.19)